

広 報

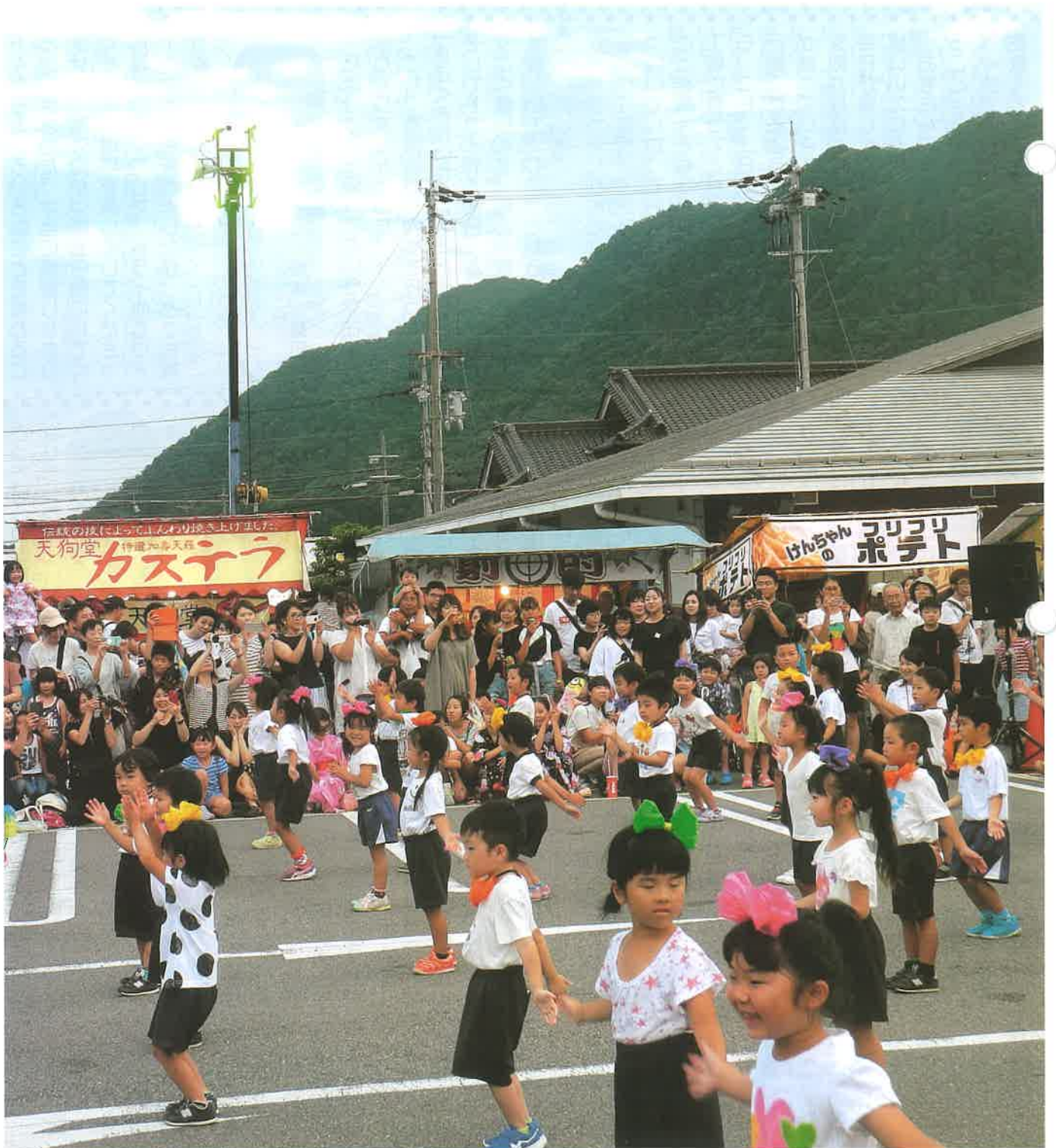
第 97 号

2019年9月

令和元年

のむら

発行人 区長 萬浪三郎
 編集 広報委員会
 事務局 TEL.0795-23-4639
 世帯数 2,929世帯(野村町)
 17,194世帯(西脇市)
 人 口 7,314人(野村町)
 40,500人(西脇市)
 (9月1日現在)



トライやるウィークを終えて

今年もトライやるウィークが行われ、一四〇名の生徒さんがさまざまな職業を体験しました。

西脇南中学校のご好意により、その中から野村町在住の生徒さんの感想文を掲載させていただきます。

七福建設

郡 和滉

今回、トライやるウィークを五日間してみて、僕が目標にしていた人間性を成長させるという目標に少し近づけたように思いました。普段は経験できないことを経験することは大変でした。その中でも職場の人たちが応援、助けてくださって、とても支えになりました。

ぼくの将来の夢は、アシックスという会社に入って「靴」をつくることです。今回ぼくが行った「七福建設」とは、なかなか結びつくものは少ないと思います。ですが、絶対に役立つ日が来ると思っています。だから、この五日間のことは忘れず頭の中に入れておき、役立っていきたいと思います。そして、助けてくださった職場の方々からもいろいろなることを教わることができました。本当に感謝しかありません。案外短かった五日間にしてくれたのは、現場を楽しくしてくださった職場の方々でした。トライやるウィークはとても疲れましたが、とても有意義な五日間でした。

KU 弥介

藤本 華凜

私は、「KU 弥介」という存在をあまり知りませんでした。

でも、事前訪問で初めて行ったとき、「すごくきれいな所だな」と思いました。そしてトライやる初日、おかみさんはすごく優しく、他のみなさんもすごく優しい方でした。だから安心して始められました。

一日目本当に何もわからなくて、話を聞いて整理するだけで、いっぱいいっぱいでした。でも、リラックスすることを教えてもらったり、一つひとつ丁寧に言ってくれました。そこから、二日、三日と過ぎると、自分から行動できるようになり、どんどん失敗が減っていきました。五日目、最終日、失敗がほぼゼロになりました。本当に、毎日が楽しくてずっとこの時間が続けばいいのと思います。

お客さんに失礼のないよう丁寧にすること。元氣よく、でも上品にあいさつ。隅々まできれいに掃除すること。などを教えてくださった「弥介」は、私に

とって居心地の良い安心できる場所となりました。

この五日間で、学校では学ぶことのできないことを学びました。「弥介」のみなさん、本当にありがとございました。

みぎわ園

青山 琴絵

この五日間のトライやるウィークで人と話す楽しさ（コミュニケーション）や、介護の難しさを学びました。何をしても利用者さんに喜んでいただけて、とても嬉しかったです。（配膳、片付け、ネイル塗りなど・・・）

利用者さんが私たちに伝えたいことが、私には理解できなかった時もありました。でも、何とか理解しようと努力し、利用者さんが伝えられたことが分かった時、とてもうれしかったです。努力することは大切であると思いました。

六月六日の入浴見学では、利用者さんの髪の毛をドライヤーで乾かしました。はじめは、利用者さんが熱くないか心配で、どうしようかと思っていました。でも、職員さんにコツなどを教えていただき、上手に乾かすことができました。この五日間で成長できたことをこれからの生活で生かしたいです。

つばきぐらひ幼稚園

藤原 暖

僕が、このトライやるウィークを通して学んだことは、「今できる最善のことをする」ということです。なぜ、このようなことが学べたかということ、園児がけがをした時の対応や、行事で大きなミスをしてしまった園児を助けるなどのとつさの判断力が試されたからです。この判断力は、幼稚園だけでなく、普段の生活でも活かされると思います。

この幼稚園で学んだ「判断力」で、他の事業所に行った人よりも一歩リードできるように頑張っていきたいです。本当に幼稚園は学ぶことが多かったし、園児たちの生活などを知れて良かったです。

陸上自衛隊 青野原駐屯地

遠藤 正恵

初めは、とても不安や緊張がありましたが、とても楽しく色んなことを学べた五日間でした。

自衛隊に関しては、ほとんど知識がなかったし、自衛隊という仕事の選択肢もありませんでした。でも、トライやるウィークを通して自衛隊についてのことや、自分には自衛隊という仕事の選択肢もあるんだということを知ることができました。

隊員の方はいつもテキパキ動いてい

て、とてもかっこよかったです。自衛隊には、階級みたいなものがあるのですが、とても、縦社会なんだなと気づきました。

「国民を守る」ということを仕事にしているの、訓練は厳しいそうです。自分の知らないところで、私たちを守るためにたくさん頑張ってくれてる人がいるんだと知ることができました。

佐藤果実工房

足立 昂之晋

トライやるをやって、はじめはしんどくないやろって思ってたけど、意外に「葉かき」がしんどくて、ビニールハウスの中でやったら、三十分で汗だくになってやばかったし、ミツバチもいっぱいいてうつうつとした。

「土入れ」は「葉かき」より簡単で、ビニールハウスにも入らなくていいから、まだ楽だった。

毎日作業が終わった後のデザートが本当に美味すぎた。このトライやるをやって、農業のしんどさがちょっとだけでもわかった気がします。

ひまわり保育園

衣川 心音

トライやるウィークを終えて、とてもたくさんのお話を学び、とても濃い時間となった五日間だったと思います。

一日目より二日目、二日目より三日

目というように、目を重ねることにだんだんと園児と関わるが多くなっていきました。毎日目標を持って取り組むことで、毎日学ぶことがあり、学んだことやその日の反省を次の日に活かしたり、次の目標にしたりできました。一緒に遊んだり、山登りをした時など、子どもたちのペースに合わせて遊んだりして、喜んでもらえて良かったです。保育園のおやつをつくる手伝いもさせていただき、とても貴重な体験をすることができて良かったです。

ファッションセンター しまむら

中務 理彩

一週間、ケガなく無事にトライやるウィークができたので良かったです。希望通りの事業所に行けたのでとてもうれしかったです。だけど、一人だったので、不安でした。でも、従業員の皆さんが温かく接してくださったので、とても楽しく実習ができました。

また、普段の生活にも役立つようなハンガーのかけ方や、商品を購入されたお客様への感謝の表現の仕方として、服のたたみ方の工夫も教えていただきました。とても勉強になったので、そのことが生かせる仕事に将来つきたいと思いました。

トライやるウィークを通して物事の見方が変わりました。

西脇警察署

二村 萌

私が、トライやるウィークを通して学んだことは主に二つあります。

一つ目は、私たちのために全力で工夫し、身体を張って命をかけてまでして、守ろうとしてくださっている方々がいるということです。警察官という仕事には、様々な仕事内容があり、地域警察や刑事警察、生活安全警察、交通警察などがあります。他にもたくさんの方々の安全のために、今も日本の警察官の方々は一生懸命働いてくださっているということを知りました。

二つ目は、自分たちも身を守るための工夫をするということです。「警察官がいるから大丈夫！」なんて思っている方も、警察の方々にも守ることのできる範囲には限界があります。だからこそ、自分で自分の身を守ること大切だということを改めて学ぶことができました。

この二つのことを学んだ今、これからの生活で自分が意識して自分の身を守り、警察官の方々への感謝を忘れずにいたいです。

西脇病院

星野 煌河

この五日間のトライやるウィークで、医事、リハビリテーション、臨床工学、

薬剤、栄養、検査、放射線、看護といった様々なことを体験させてもらいました。病院の裏側では、こんなことをやっているのかと、知らなかったことをたくさん知ることができました。

その中でも、僕が特にすごいと思ったのは、リハビリテーションで、患者様に寄り添ってリハビリを支援しているのを見て、本当にすごいと感じました。

公民館サークル案内

木工クラブのみグリーンスポーツハウス

名称	日時	代表者
詩吟	一・三火曜 19時30分	金田 隆 敏
パソコン勉強会	毎週木曜 19時	清家 京子
気功講座	二・四土曜 10時30分	前川貫治・よし美
木工倶楽部	一・三日曜 9時~16時	原田 昇
毛筆サークル	二・四土曜 9時30分	丸山 貞夫
野々華の会	第二金曜 19時30分	熊本千代子
茶道教室	一・三土曜 9時30分	篠原 邦子
カラオケ	一・二・三火曜 13時30分	藤原 信子

見学・入会希望の方は公民館までお問い合わせください。

緑風台納涼祭

七月二十日(土)夜、恒例の緑風台納涼祭が開かれました。台風の影響で開催が危ぶまれ、関係者は



賛否は半々

町内会で開かれる夏祭りというのは、最近では珍しく、西脇市内では緑風台だけと聞いています。しかし準備・運営はけっこう大変で、そろそろやめてはどうか、という声が以前から出ていました。存続の是非について、アンケートを取ったことでもあります。賛否が相半ばしたこともあれば、反対の方が多い時もありました。しかし、長年続いた行事を自分たちが役員の時にやめるのは忍びない、ということから今日に至っています。

やめようと提案したら

「役員が苦勞して準備しているのに、どれだけの人が参加しているのか。一部の踊りの好きな人、会場近くの班だけではないのか」という指摘を受け、今春の総会で、思い切って中止を提案しました。すると、存続を求める声が相次ぎました。中には「子ども達にふるさとを残すため、我々一部の人間だけでやってもよい」という力強い意見も出しました。

実行委員会を作る

そこで、実行委員会方式でやることを提案しました。集まったのは、緑寿会、子ども会、ろつく太鼓踊りのグループであるはなみずきとみどり会、そして木工倶楽部の皆さんです。そこに町内会から二人の役員が加わりました。委員長を受けていただいたのは、緑寿会の会長さんでした。

試行錯誤の連続

お互い初めての経験なので、準備作業は一からのスタートでした。昨年までのデータとにらめっこして、あれが足りない、これを買に行こう、ということの繰り返しでした。生ビールや焼きそばなどを売っていた業者への連絡を忘れていて、先方から「今年はどうなってますか」という電話があり、あわててお願いする一幕もありました。

新しい試み

従来から大変だったやぐらの組み立ては、思い切って業者に頼みました。さいわい、町内に関係者がおられたので、安くやっていただけました。開会前に太鼓を並べ、子ども達に叩いてもらうというイベントをやりました。また事前に踊りの練習日を設けました。本来は子ども達のためだったのですが、大人の方も来られて、大いににぎわいました。

(広報注：踊りの輪の中に、例年以上に多くの子ども達の姿が見られました。また盆踊りの定番曲に加え、「パプリカ」など若者向けの曲も流されていました)

子ども会も、ビンゴ大会やバザー、ゲームの景品などを充実させました。

新しい伝統の芽

今回の取り組みで、町内会役員が入れ替わっても安定して続けられる基礎ができたと思います。これが新しい伝統の芽として育ってくれたら、と願っています。

西脇しばざくら通り 謝恩夏まつり

西脇しばざくら通り商店会一同



七月二十四日(水)、西脇しばざくら通り謝恩夏まつりは、多くの方のご協力(野村町役員、西脇南中学校、ボランティア)を得て、無事終了いたしました。しばざくら通り商店会同、心より感謝いたしております。

特に今年は大変な天候が安定せず、午前十時からの会場の設営も、常に天気予報を見ながらの準備となりました。準備を予定通り進めていきましたが、しばざくら幼稚園の演技が始まる午後六時三十分時点の天気予報は、集中豪雨の予想となっていました。そして午後五時ごろには予報通り雨が降り始め、雨の中の開催を覚悟していたところ、演技の始まる三十分前の雨雲レーダーでは、信じられないことに雲が全く無くなっていました。そしてその後は予定通り。夏まつりのイベントは、しばざくら幼稚園のダンスに始まり、放課後子ども教室、Eージム西脇のダンスが続きました。その後、Vリーグ二部の兵庫デルファイノが、十一月に西脇で行う試合の入場券をプレゼントするじゃんけん大会、大人のおさこいグループ、フラのグループと続き、最後は来場者全員が参加できる盆踊りの総踊りで締めいただきました。

当商店会の行っている夜店は、雨の予報のため、すべて例年より少く準備していましたが、福引、焼きそば、ビール、ラムネもすべてイベントの終わる時間前には完売致しました。購入できなかった方には申し訳ございませんでした。

野村町役員の方々には、雨対策として、テントを例年より多く設置していたことにも、会場内にゴミ箱の設置、ゴミ箱のゴミ袋の回収交換、周辺の清掃をしていただきました。結果、毎年二十四時までかかっている撤収作業を、今年は二十三時に完了することができました。

天候が安定しない一日ではありませんでしたが、多くの人達の援助により、大盛況のまま無事終了することができました。野村町役員をはじめ多くの方々のご協力、ご支援有難うございました。

太鼓の乗り子募集

野村町消防団より

皆様には、日頃より消防団活動にご理解、ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

年々秋祭りの大鼓の乗り子の参加が減ってきています。乗り子として太鼓に乗れるのは、中学一年生の男子です。一生に一度の機会です。ご両親がお子様の成長された姿をご覧になるという良き記念になりますし、太鼓に乗ったお子様にとっても、良き思い出、経験になると思います。



令和二年に中学一年生なるご家族には、ぜひ一緒に祭りを見に来ていただきたいと思えます。そして、来年の太鼓の乗り子にと背中を押していただけたら、うれしく思います。

「天下泰平」「五穀成就」を祈願して、太鼓の音と歌声で盛大な祭りにしましょう。令和時代も秋祭りを盛り上げていきたいと思えます。

去年の太鼓の乗り子の高橋君の体験談を下記に掲げさせていただきます。

太鼓に乗って 高橋 優輔

今回、太鼓に乗らせてもらったのですが、特に祭りや太鼓への関心があったわけでもなく、ただ乗りたいとは思っていません。最初は歌が覚えられるか不安でした。本番初日の土曜日は、予想以上にきつかったです。それでも、友達とかいらない人が見に来てくれて、それがやる気になり、がんばることが出来ました。

二日目の日曜日は、丸一日やりました。特に宮入のところは、二日通しての一番のクライマックスで、いつも以上にみんなが注目するところでした。

その時、乗っていたばかりは、楽しさのあまり、ついつい笑ってしまいました。それでも真剣に出来ました。

午後はほとんど太鼓に乗っていたので、他町の大鼓のぶつかり合いとか、すべてを経験することができたので、とてもいい思い出になりました。

今回の経験を通して、太鼓に対する思い入れも変わりました。だから来年も、乗る人がいなくなったら乗りたいし、乗る人がいたとしても、太鼓を引きにいきます。

忠魂碑清掃

「忠魂碑の清掃をやるんです。広報で写真を撮りに来てもらえませんか」との要請を受けました。七月二十九日(月)十時過ぎ、現地にお邪魔して、世話役の藤原久司さんから話を聞きました。

遺族会の野村・重春支部の役員が毎年この時期に掃除をしています、とのことでした。強い日差しが照りつける中、六名の方が汗を流しておられました。

ところで、忠魂碑がどこにあるか、ご存知ですか？野村公園の一角、グラウンド東奥の北側に、南を向いて建っています。以前はすぐ下を国鉄鍛冶屋線が走り、国道から線路をまたいで陸橋が架けられていました。野村公園が整備されるはるか前のことですから、忠魂碑へ行くために作られたものと推測されます。

正面には、「忠霊塔」の文字が大きく刻まれています。陸軍大将・本庄繁敬の書でした。裏面には「昭和十七年一月之を建つ」とありました。昭和十七年は一九四二年、その一月といえば、真珠湾攻撃の記憶がまだ生々しい頃でした。

忠魂碑の東側には「殉国烈士」の碑があり、戦死者の名前が記されています。

(広報注：この日、高圧洗浄機で清掃したため、名前が読みやすくなっていったとのことでした)

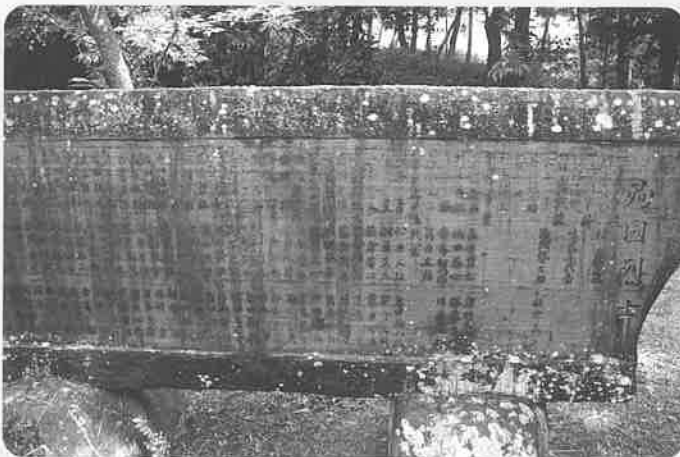
忠魂碑といえは、太平洋戦争で戦死した兵士を慰霊するものと思いがちですが、この第一行にあるのは、意外にも、「西南の役」です。西郷隆盛率いる薩摩軍と戦うため、この地から九州まで出征し、亡くなった方が二人いたことがわかります。

次は「台湾事件」。一八七四(明治七)年に行われた台湾出兵のことです。教科書の片隅に載っているような出来事ですが、二人の方が戦死していたのは驚きでした。

日清戦争はなく、「日露戦争」で四名が戦死。次に「平時一名」とあります。演習中の事故あるいは病気で亡くなったということでしょうか。

続く「支那事変」、いわゆる日中戦争からは一気が増えて十一名。そして石碑の大半を占めるのが第二次世界大戦であることは、いうまでもないでしょう。さいわいにして、それ以降の戦死者はありません。

(広報注：「殉国烈士」の碑が、いつ作られたのか、わかりませんでした。ご存知の方は公民館までお知らせ下さい)



笑顔

・緑風台納涼祭り・人権講演会
公園清掃



いきいきサロン



人権講演会



忠魂碑
清掃



公園清掃6区



しばざくら夏まつい



市長さん



会長さん



副会長さん

野村町の

いきいきサロン しばざくら夏まつ 忠魂碑清掃



本部席



まちづくり計画 再編会議

☆第六回☆(六月十二日)

ワークショップ

今回はひたすらワークショップです。前回出された野村町が当面する課題の中から講師の浅見さんが選ばれた三十項目について、その解決策を考えます。

六つのグループに五つずつの課題を書いた紙が配られ、そこに各自が考えた解決策を貼っていきます。

一定の時間が来るとその紙を次のグループに送ります。入れ替わりに次の五つの課題が届きます。そこには前のグループが考えた解決策がすでに貼られています。それに新しい解決策を付け加えていきます。これを六セット繰り返ししました。

解決策が次々に貼り出されるグループもあれば、中々浮かんでこないグループもあります。しかし、講師の浅見さんによれば、これだけみんなが熱心に取り組み、アイデアが次々に出てくるのは珍しい、とのことでした。

参加者は四十二名でした。

☆第七回☆(七月十日)

市役所より

市の担当者より、三重県名張市桔梗が丘地区(人口一万三千)での実践について、紹介がありました。

一、まちづくり委員会と区長会を一体化

した組織を作った。

二、理念は「ほっとまち」を作ること
三、行事については、各種団体が中心となった運営を行い、区長など町役員に負担が偏らない工夫をしている。

ワークショップ

今回も中心はワークショップです。前回までに出された野村地区の課題とそれに対する対策・約三百項目を六つのグループに配分します。それぞれ五十近い項目を検討し、実現可能性の高さ、重要度の高さを五段階で評価します(五が高く、一が低い)。

たとえば、「町役員のなり手が少ないので報酬を引き上げる」については、重要度は四だが可能性は二、「隣近所であいさつをする」については、可能性は五だが、重要度は三という風に判断します。

すいすい進むグループもあれば、議論が白熱して中々進まないグループもあります。終了まで四十分あまりかかりました。

次にそれぞれの項目について、二つの評価点の合計を出します。つまり最高は十点になるわけです。最後に十点満点の項目を赤で囲みました。

各グループから集めた結果一覧をずらりと並べ、各自が二つずつ持ったシールを、十点満点の項目の中で「これなら自分がやってもよい」というものに貼っていきます。最多の六点を集めたのは、「避難時要支援者の名簿を作る」でした。

講師の浅見さんによれば、野村町はみんなが毎回熱心に取り組んでいて、感心することでした。

予定時間をオーバーして二十一時半近くに散会しました。参加者は二十七名でした。

いきいきサロン

六月十五日(土)午後、野村町公民館で第七十九回ふれあいいきいきサロンが開催されました。

直前にプレーカーが飛ぶというアクシデントがあり、開会が少々遅れました。司会は三区の前原義継さんです。

①交通安全について

最近、高齢者による自動車事故が多発しています。そこで西脇警察署交通課の丸本さんを講師に招き、交通安全について話していただきました。

西脇・多可地区で最近起きた事故を例にとり、特に交差点では、「二呼吸置く余裕が必要」「どちら

らが正しいかではなく、お互いに思いやる気持ちは大切だ」と話されました。

②コンサート

今回のメインは、シンガーソングライター・ミカズキンさんのコンサートです。西脇出身で、現在は奈良を中心に連日ライブ活動を行っています。昨年開かれたへそのミュージックフェスタで、グランプリを獲得されました。本名を漢字で書くと、「月」の字が三つ入るので、ミカズキンという名前にしたとのことでした。

若いシンガーソングライターの登場は、いきいきサロン初めの試みで、皆さんの反応が注目されました。最初は「？」あるいは「・・・」だったものが、しだいに「ー」になり、最後は「♡」に変わりました。

③カラオケ

カラオケといっても一人で唱うのではなく、全員で唱います。「リンゴの唄」「浪花節だよ人生は」「しあわせなら手を叩こう」の三曲をみんなで唱いました。

十五時半、長井副区長のあいさつでお開き。参加者は、あいにくのお天気の子供、三十五名でした。



人権講演会

八月十八日(日) 十四時より、野村地区の月間講演会が「みらいえ」で開かれました。

① 人権作文朗読

しようがいのある人とのつながり

重春小学校四年 川島 龍飛さん



手話教室で手話の勉強を始めました。耳の不自由な人は、補聴器をつけたとしてもよく聞こえません。補聴器をつけたままではプールに入れません。耳の不自由な人への気遣いが必要です。

手話が使えたとしても、それだからかうのはだめです。耳の不自由な人への優しさが必要です。そんなことを教えてくれた手話教室に感謝しています。

私が今、思うこと

西脇南中学校三年 三村 遥さん



不登校・引きこもりについて、私はそんなに悪いことだとは思いません。それは、私のよく知っている人が不登校だからです。不登校でみんなに迷惑をかけたり、心配させているのは事実です。でも、それがわかっていからこそ、学校に行けないのです。

「不登校の子つてずるいよね」という人がいます。不登校の人は、自分を嫌がっているし、悩んでいます。それをずるいという方が変です。みんな同じ人間なんです。不登校の知り合いにいわれました。「自分のことをわかってくれる友達がいるからうれい」と。人は人のつながりの中で生きていくのだと思います。

② 講演「あきらめない心」

パラリンピック水泳・元日本代表 伊藤 真波さん
生まれ育ったのは静岡



私は静岡の田舎で生まれ育ちました。子どもの頃の夢は、看護師になることでした。中学時代は勉強が嫌いで、荒れた生活を送っていました。真面目に努力する人を馬鹿にしていました。

◆ある先生との出会い

そんな時、ある先生が赴任してきました。一度は会社に勤めたが、どうしても先生になりたいと思い、仕事を辞めて大学に入り直し、三十歳でやっと先生になったというのです。みんなに馬鹿にされても、男子に暴力を振るわれても、生徒たちに懸命に向き合っていました。「君には看護師になりたいという夢があるんだ。だったらその夢に向かって進みなさい」と、私を励ましてくれました。

先生に認めてほしいと猛勉強し、静岡県で唯一、衛生看護科のある高校に入学しました。

◆大型バイク

卒業後は准看護師として働きながら、看護学校で勉強しました。さらに、夜は居酒屋などでアルバイトしました。そのお金で買ったのが、大型バイクでした。そして二十歳の時、そのバイクで大型トラックとぶつかったのです。事故の結果、私は右腕を切断しました。成人式の直前のことでした。もう看護師にはなれない。自分の人生はこれで終わったと思いました。

◆あきらめない

そんな時、見舞いに来た看護学校の先生がいました。「君が絶対逃げないと約束してくれるなら、我々は学校で待っている」と。私は泣くのをやめ、リハビリに励みました。みんなが勧めてくれたのが、兵庫県立リハビリテーション中央病院

院でした。そこで看護師専用の義手を作ってもらいました。ガーゼ一枚、注射針一本でもきちんとつかめる優れ物です。私は今、その義手を使って看護師として働いています。

◆スポーツとの出会い

ある日、車椅子バスケットの試合を見に行きました。激しくぶつかり合い、その勢いで転倒することもありますが、でも、誰も助けてくれません。自力で起き上がるのです。その時、私は右腕のないことを言い訳に、逃げていたのではないかと気づきました。私はスポーツの力で強くなりたいと思い、リハビリを兼ねて水泳を選びました。右腕がないことがはっきりわかる種目を、あえて選んだのです。

やる以上は強くなりたいと思い、練習に打ち込みました。気がつくと、競泳選手になっていました。

◆多くの人に支えられて

普通に働いては練習時間が足りません。そこで勤めていた病院の院長先生に「練習時間を下さい」とお願いしていました。またパラリンピックは、ほぼ自費の世界です。年四五回の海外遠征の費用も大変です。そこで自力でスポンサー企業を見つけました。北京・ロンドン、二回のパラリンピックに出場できたのは、支えて下さった皆さんのおかげです。そして初めて、両親に「ありがとう」と伝えることができました。

◆結婚と出産

結婚相手に障害がある、というのは、先方の両親にとってはハードルが高いと思います。さすがの私もあきらめかけました。しかし主人はあきらめず、「少しずつわかってもらおう」といっていました。私を受け入れて下さった主人の家族に感謝しています。その後、娘を出産し、この六月には二人目が生まれました。私は一人の母親として、子育てと仕事に追われる毎日を送っています。

(広報注)この後、義手を使つてのバイオリン演奏が行われました。曲は中島みゆきの「糸」でした。どうやって弾くのかと見入っているうち、写真を撮るのを忘れていました。反省!さらに、ご主人と二人のお子さんが登場するサプライズもありました)

◆歴史のかたづけ・公民館大掃除

建設土木・安全委員長 尾崎 吉重

令和元年六月十六日、区議会役員ら総勢十七名で、公民館のかたづけを行いました。

公民館前の石碑には「昭和四十九年建設」とありますので、もう四十五年も経っているわけで、調度品もかなり傷みを感じさせます。事前に会計の元井さんはじめ事務局の方々で分別して下さっていたので、混乱することもなく、スムーズに片付けが進みます。

物置から「なままずおさえ」の神具が出てきました。そういうえば、役員になって初めてこの神事を目の当たりにしましたが、石上神社の勇壮な秋祭りの風景と重なり、歴史の重さを感じたものです。これは現役の道具ですので、二階和室の保管所へ移動です。

かたづけてみてびっくり！二階和室が炊事場や風呂が付いたまま残っていました。昔は当直されていたのかも知れませんが、ご苦労さまでした。外の倉庫には、ベニヤ製の看板が二十枚近く保管してありました。昔運動会の応援パネルや当時の朝市に使ったものらしく、まだ十分使用に耐えるものですが、当面予定がないということで、これは廃棄処分です。

西脇市駅のイルミネーション設置ポール、これも昨年まで活躍していましたが、駅改修にともない、内容を再吟味するというので、電球を残してとりあえずお役御免です。

昭和六十年当時の総会資料が出て来ました。失礼ながら、私など名も存じ上げぬ先輩方のお名前が並んでいます。いちいち手を停めては作業がはかどりませんが、しばし拝読。当時の諸先輩のご苦労が偲ばれます。

温故知新ではありませんが、古いものを壊し懐かしみ、新しい時代に向き合う時、私たちに新たな責任が生ずると思えます。



公民館も半世紀を経て、あちこちに傷みが目立ちます。野村町の行政の中心としての公民館の将来を、ハード・ソフトの両面で検討すべき委員会を一刻も早く立ち上げるべきだと、改めて痛感しました。

午後四時、バックカン一基に定量の三倍もの廃棄物を詰め込んで、すっきりとかたづけが終了しました。ともあれ、疲れたけれど有意義な一日でありました。

◆三区集会所でできる

懸案だった三区の集会所（広報のむら第九十五号参照）ができました。町内会長の前原さんにお聞きしました。

借家で確保
あちこち探し回った結果、この六月、空き家になっていた家を確保することができました。一軒まるごとではなく、一部屋だけ借りました。十五、六人で会議ができると思います。また、各班への配布物を整理するのが楽になりました。

家賃は格安
以前、ミシン工場をやっておられたので、エアコンがそのまま使えるのありがたいところ。家賃は格安にいただきました。すべて一人で
テーブル二つは三区の倉庫から持ってきました。残り二つは野村町の公民館からもらってきました。白板もあちこち探して、もらってきました。室内の掃除、テーブルの運び込み、すべて私一人でやりました。

看板も自分で作りました。板を削り、字を書き、ニスを塗りました。



一石二鳥？
懸案の集会所を確保するとともに、空き家対策もできたわけで、一石二鳥ではないかと喜んでいきます。三区の老人会、子ども会の会議などにもご利用下さい。

◆野間川・加古川の河川草刈り

環境衛生委員長 比留田 健利

七月二十一日（日）午前七時より、野村地区の野間川・加古川の河川草刈りが行われました。日曜日の朝早くから、三十八名の方が参加してくださいました。本当に感謝・感謝です（写真1）。

曇り空から雨に変わり、最後は晴天になりました。みなさんの頑張ろうという気持ちが天に通じたのかなと思います。

みなさんの必死の作業で、野間川・加古川の河川は蘇りました。完了した時、みなさんは笑顔いっぱいでした。「これで、河川で遊ぶ子供たちや堤防を散歩する人たちが喜んでくれるだろう」という思いからだと思えます。人のために何かをするって、素晴らしいですね。心から、楽しくなります。怪我也も熱中症もなく、無事に終わって本当に良かったです。何より一番嬉しかったのは、普段話すことのない町内の人々が、輪になって話で盛り上がっていることでした。こんな楽しい草刈りは初めて見ました。これが今回の一番の収穫だったと思います。

また、秋にも草刈り作業がありますので、みんなでワイワイガヤガヤやりたいです。みなさん、草刈りで盛り上がりましょう。待つてま〜す！

号外八月十五日、自宅前の用水路でウナギを捕まえました（写真2）。本当にビックリしました。野村町もまだまだ自然いっぱいです。



(写真1)



(写真2)

令和元年 野村町 行事カレンダー

*注*その後変更されることがあります。念のためご確認ください。

2019年 10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1 カラオケ 13時半 詩吟 19時半	2 貯筋クラブ 10時	3 パソコン 19時	4 貯筋クラブ 10時	5 茶道 9時半 気功 10時半
6 木工 9時～16時	7 貯筋クラブ 10時	8 カラオケ 13時半	9 まちづくり計画 再編会議 19時半 貯筋クラブ 10時	10 パソコン 19時	11 貯筋クラブ 10時 野々華の会 19時半	12 野村町秋祭り
13 野村町秋祭り	14 体育の日	15 カラオケ 13時半 詩吟 19時半	16 常任委員会 19時半 貯筋クラブ 10時	17 パソコン 19時	18 人権定例研修 19時半 貯筋クラブ 10時	19 いきいきサロン 13時半 茶道 9時半
20 木工 9時～16時	21 貯筋クラブ 10時	22 即位礼正殿の儀	23 区議会 19時半 貯筋クラブ 10時	24 パソコン 19時	25 貯筋クラブ 10時	26 毛筆 9時半 気功 10時半
27	28 貯筋クラブ 10時	29	30 貯筋クラブ 10時	31 パソコン 19時		

2019年 11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1 貯筋クラブ 10時	2 文化祭
3 文化の日 文化祭	4 振替休日 河川草刈り	5 カラオケ 13時半 詩吟 19時半	6 貯筋クラブ 10時	7 パソコン 19時	8 貯筋クラブ 10時 野々華の会 19時半	9 花いっぱい運動 毛筆 9時半 気功 10時半
10	11 貯筋クラブ 10時	12 カラオケ 13時半	13 まちづくり計画 再編会議 19時半 貯筋クラブ 10時	14 パソコン 19時	15 貯筋クラブ 10時	16 茶道 9時半
17 公園清掃1区 木工 9時～16時	18 貯筋クラブ 10時	19 カラオケ 13時半 詩吟 19時半	20 常任委員会 19時半 貯筋クラブ 10時	21 パソコン 19時	22 貯筋クラブ 10時	23 勤労感謝の日 イルミネーション点灯 毛筆 9時半 気功 10時半
24	25 貯筋クラブ 10時	26	27 合同委員会 19時半 貯筋クラブ 10時	28 パソコン 19時	29 貯筋クラブ 10時	30

2019年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
1 祇園祭 木工 9時～16時	2 貯筋クラブ 10時	3 カラオケ 13時半 詩吟 19時半	4 常任委員会 19時半 貯筋クラブ 10時	5 パソコン 19時	6 貯筋クラブ 10時	7 茶道 9時半
8 公民館大掃除 防災講習会 区議会	9 貯筋クラブ 10時	10 カラオケ 13時半	11 貯筋クラブ 10時	12 パソコン 19時	13 貯筋クラブ 10時 野々華の会 19時半	14 毛筆 9時半 気功 10時半
15 木工 9時～16時	16 貯筋クラブ 10時	17 カラオケ 13時半 詩吟 19時半	18 貯筋クラブ 10時	19 パソコン 19時	20 人権定例研修 19時半 貯筋クラブ 10時	21 気功 10時半
22	23 貯筋クラブ 10時	24	25 貯筋クラブ 10時	26 パソコン 19時	27 貯筋クラブ 10時	28 公民館仕事納め
29	30	31 年末年始祭灯				

町内会訪問 第五回 五区

七月三十日(火)夜、五区の役員さんとみらいえでお会いしました。

●五区の範囲は？

北はさとう南側、西村書店から工業高校への道、南は野間川、東はしばざくら通り、西はやや複雑で、茜が丘との境界、さらに野間川沿いの上ノ段を含みます。

●就任に当たってのいきさつ

町内会長・藤井秀典さん(以下、藤と略します)・・・はくはAブロックからの選出です。新班長の集まりだといわれ、軽い気持ちで参加しました。一回目の会議で決まらず、二回目も難航したので、ぼくが「くじ引きで決めたらどうですか」と提案しました。提案者だったので一番最後に引くと、何とそれが町内会長の当たりくじでした。びっくり仰天です。後で旧の班長さんが謝りに来られました。

副町内会長・緋田(あけだ)良一さん(以下、緋と略します)・・・私はBブロックの選出です。野村町の役員を決める会だということで参加しました。ところが公民館や人権などの役を、希望者が先に取ってしまった。最後に残った三役をくじ引きで決めることになりました。私が当選しました。



緋田 藤井 福谷
会計・福谷信夫さん(以下、福と略します)・・・私のいるCブロックは、初めからくじ引きと決まっていた。私が当選しました。

●やってみたいの感想

藤・・・この若さで会長になったので、最初の区議会では、代理出席と間違われまし

いねえ」とびっくりされました。

緋・・・初めは絶対嫌でしたが、やっていくうちに少しずつ面白いかと思うようになりました。藤・・・経験だなあ、と感ずきます。一年では無理や

●五区独自の取り組み

藤・・・特に思いつきません。福・・・以前班長をやった時にはバトロール活動がありました。今はやってないようです。

●よかつたこと

藤・・・年配の方との出会いが増えました。ぼくは野村三区の出身で、太鼓にも乗ったことがあります。「あなたがこんなに大きくなったのか」と声をかけていただきました。緋・・・人との関わりが増えました。福・・・人との出会いが増えたことです。

●大変なこと

藤・・・会合が多いことです。現役で働いているので平日の会議や行事に参加するのが難しいです。緋・・・民生委員の選出です。ようやく一人受けていただけました。条件が厳しく、人がないのが現状です。民生委員は名誉職で、希望者が多いという地域もあるようですが・・・(広報注・・・この日はインタビュー終了後も、民生委員の相談をされていました) 福・・・会計の仕事が大変です。藤・・・会計か会長かといわれたら、ぼくは会長を取りますね。

●課題と問題点

藤・・・市や県への要望事項が中々うまく進まないことです。ぼくの任期中に上がってきたものは、何とか任期中にすませたいと思っています。緋・・・土手の土から水が漏れるという苦情に対しては、市がすぐに来て、持ち帰り検討するといってくれたので、班長さんにも納得していただきました。福・・・道の狭いところにミラーをつけるという要望は、まだ進んでいません。

緋・・・アパートに外国人が増え、周辺をうるうるされると困るという人があります。何の問題も起きていないのに、用心が悪いといわれても、対処しようがありません。(広報注・・・中国、ベトナムなど東南アジア系の若者が増えています。治安上、特に問題はないそうです)

福・・・アパートや店舗が多く、配り物が大変です。緋・・・(アパートで) 広報などを一軒ずつポストに入れるところもあれば、十部まとめて一個所に置くところもありますが、あまり読まれていないと感じます。



●自慢の景色

藤・・・野間川の景色です。緋・・・野間川の向こうに見える鳴尾山です。場所としては板波になりませんが、紅葉の季節になると中々きれいです。福・・・茜が丘の裏山に沈む夕日です。

●皆さんに訴えたいこと

藤・・・若輩者の会長で行き届かない点が多々あったのですが、残りの任期を全うしたいと思っています。一ヶ月過ぎた、もう一ヶ月過ぎたと指折り数える心境です。緋・・・役員を決める時は、三役を最初に決めて下さい。それから、親が班長に当たったが高齢で無理なので、子供が替わりにやっている場合があります。役員に年齢制限を設けるなど、野村町の方で基準を決めていただけないでしょうか。(広報注・・・以前、常任委員会に議題として上がったことがあります。各區、各班で決めるべきことだ、という結論に至りました) 福・・・何とか無事に任期を終えたいと願っています。

編集後記

広報委員 坂元 邦秀

私は広報委員でありながら「広報のむら」を隅々まで読んだことがありませんでした。八月の区議会終了後、編集後記をお願いされても、何を書かのかまったくわかりませんでした。他の委員の方に教えられ、過去の広報を見てみると、最終ページにコメントが寄せられているのを知りました。

私はまちづくり推進協議会委員にも入っています。野村町では年に三回、まちづくり委員会によるいきいきサロンを開催しています。いろいろな催し物、イベントがありますが、今回十月はみらいえでの開催予定になっています。知り合いの方々に声を掛け合せて新しい発見、元気をいただいでほしいと思います。

今年もトライやるウィークが行われ、さまざまな職場に出向き、体験をされたみたいですね。私の子供も青果市場と弥介で体験しました。気になるので、嫁さんと二人で見に出かけたことを思い出しました。

生徒さんは覚えることが多い。接客業ではドキドキ・心配事の繰り返しで、慣れるまで時間を長く感じたと思います。社会で働いている人の姿の一部を垣間見ることができたと思います。これからの自分が生きていく長い人生の糧になっていくことを願っています。